

働く男のライフスタイル情報紙

# Biz Life Style

[ ビズスタ ]

2022 12

特別版

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、関西、  
仙台、福岡、広島にて49万部発行  
下記URLまでアクセスを。

[www.biz-s.jp](http://www.biz-s.jp)

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは  
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作 / 株式会社デイリースポーツ案内広告社  
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F  
© 2022 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD

AUDEMARS PIGUET



AUDEMARS PIGUET



名作・ロイヤルオーク、50周年。  
栄で知る孤高の時計、オーデマピゲの世界。

世界3大時計の一角に触れる場所。『オーデマピゲ ブティック 名古屋』。

My Favorite Life Style

### 50周年を迎えたロイヤル オーク 進化したモデルが登場

## ROYAL OAK

2人の若き時計師の出会いから始まったオーデマ ピゲは、文字通り世代を超えて複雑時計の歴史を塗り替え続けてきた。1882年、のちにパリ万博にも出品された世界で最初の複雑懐中時計の開発に成功して以降、革新的な技術を次々と発表。『ロイヤル オーク』は、19世紀末から現代に至る時計製造技術をリードしてきた革新的メソンの金字塔とも言える稀代の傑作だ。

製造技術と工芸美術が高みで融け合うタイムピース群の中でもひとときわ眩い輝きを放つ、不変のフラッグシップ。1972年の発表からちょうど半世紀となる今年は、50周年を記念する特別なモデルが発売された。八角形のベゼルに8個のビス、象徴的なタペストリーダイヤルを備えたスティールケースの一体型プレスレットという基本要素はそのままに、ダイヤモンドをセットしたトーンオン・トーンモデル(左)と18Kピンクゴールドのバイカラーモデル(右)を展開。発表当時の衝撃を偲ばせるアンバーサリモデルだ。



ロイヤル オーク オートマティック  
37mm  
ステンレススティール×ブリリアントカットダイヤモンド  
4,180,000円(税込)



ロイヤル オーク オートマティック  
37mm  
ステンレススティール×18Kピンクゴールド  
3,740,000円(税込)



CODE 11.59 バイ オーデマ ピゲ  
オートマティック  
41mm 18Kピンクゴールド×ブリリアントカットダイヤモンド  
13,420,000円(税込)



CODE 11.59 バイ オーデマ ピゲ  
オートマティック  
41mm 18Kホワイトゴールド  
4,070,000円(税込)



CODE 11.59 バイ オーデマ ピゲ  
クロノグラフ(オニキスダイヤル)  
41mm 18Kホワイトゴールド  
9,900,000円(税込)

日本先行発売



CODE 11.59 バイ オーデマ ピゲ  
オートマティック(オニキスダイヤル)  
41mm 18Kホワイトゴールド  
5,885,000円(税込)

※表示価格は掲載時のものとなります

# AUDEMARS PIGUET Le Brassus

いまなお溢れる、アイデアの泉  
日本先行発売モデルも

## CODE 11.59 by AUDEMARS PIGUET

『CODE 11.59 バイ オーデマ ピゲ』は、2019年に26年振りに誕生したコレクションだ。思想も意匠も、さらには何と機構にまで遡って白紙からスタートしたという真正銘の新設計。円形ケースに八角形の中ルレケースを挟み込むという非常に精緻でマニアックな立体構造を実現しており、美しいグラデーションを描くダイヤルカラーなど、オーナーだけが味わえる遊びが細部までギッシリと詰め込まれている。

コンプリケーションなども含めて精力的に新作が発売されている同コレクションでは、新たなアイデアが多数導入されている。ケースから文字盤までピンクゴールドに染まる世界に敷き詰められたブリリアントカットのダイヤモンド。見慣れているはずのホワイトゴールドに思わずハッとさせる牙えを与えるサンバースト調のスムークパーガンディラッカーダイヤル。そして、クロノグラフ、オートマティックとも最新世代のキャリバーを搭載する天然石のストーンダイヤルモデルは、何とグローバル展開に先駆けて日本が先行発売国に指名された。先端のハイテク技術と歴史が薫るブラックオニキスの素材感が共存する、コンテンポラリーな最新作。いずれもマニファクチュールとしての匠の力が伝わってくる名品揃いなので、ぜひ手に取って味わってみたい。



### 誕生50周年を迎えた名作「ロイヤル オーク」は、なぜ今なお入手困難なのか。

世界三大腕時計の一角として揺るぎない地位を誇る「オーデマピゲ」は、1875年、スイスのジュネーブにあるル・ブラッシュで創業した小さな工房としての船出だったが、その後はじつくり地力を蓄え、購得自社ブランドを設立。その精巧な職人技術は大好評を博し、ロンドンやパリ、ニューヨークなどで続々と支店を開設するまでクロールは成功を収める。

世界の超一流ブランドとしての名声を完全に決定づけたのは、創業百年が迫っていた1972年に発表された代表作「ロイヤル オーク」の存在が大きい。常に品質を高められてきた時計史に残る名作は、今年で50周年のアンバーサリヤー。そこでこのページでは、なぜ半世紀を経ても入手困難な状況が解消されないのか、その理由を眺めてみたい。

#### 発注時の伝達ミスが生じた 時計史に残る世紀の名作

1970年代初頭、オーデマピゲのグローバルCOを務めていたジョルジュ・レイ氏が、ウォッチデザイナーのシエラルド・ジエンタ氏に本の電話をかけた。用件は、もちろんデザインの依頼。ところが「革新的なスティールウォッチを頼んだはずが、なぜか革新的な防水性を備えるスティールウォッチ」と伝わってしまう。

この間違いは修正されることなく作業が進行。その結果、ステンレススティールの高級時計でありながらアウトドアの用途に耐える「アクアライズスポーツ」という新たなカテゴリの製品が完成する。やむを得ずロイヤル オークという名称で発売したところ、爆発的な人気を獲得。半世紀を経た今

も新作が発売され続ける歴史的なコレクションは、実は伝達ミスから生まれたのだ。

気が遠くなるような工程を今も守り続ける職人の矜持

誕生経緯こそ奇妙だが、製品はまさしく本物。ロイヤル オークは、モデル次第では総パーツ数が650点近くにもものぼるといふ大仕事だ。加えて、面取りやポリッシング、サン、ヘアラインなどの仕上げは手作業で、実に162工程、5時間以上もかかる。ケースだけでも制作から装飾、仕上げまでに10時間以上を要するそうだ。また、プレスレットは20ピースのリンクと154点ものパーツからなる複雑な構造を持ち、これだけで製造に約6時間。これらの気の遠くなるような作業は誕生から不変で、現在も一点1点がハンドメイド。まさに驚異的な職人仕事の集大成なのだ。

世紀の名作だけに基本デザインに大きな変化はないが、細部は常にアップデートされる。ただ、熟練の技術に依存する部分が大々く、年間の生産量は今も限定的。圧倒的な人気を誇りながら常に入手困難な状態が続くのは、品質に切実な協力が不可欠。その姿勢がまた信頼を集め、再び世界的な品薄を導くため、希少性も高まるわけだ。創業五十年が近づくと老舗だけに、こじった驚きのエピソードは事欠かない。日本では「オーデマピゲ ブティック 名古屋」のスタッフが深い知識を持ち合わせており、愛好家たちを愉しませている。ネットの専門サイトでも掲載されていないようなレア情報も豊富なので、訪れる際は覗きたいことをメモにまとめて、遠慮なく質問攻めにしてみたい。





特別な空間で、特別な体験を。  
オーデマ・ピゲ ブティック 名古屋。

『オーデマ・ピゲ ブティック 名古屋』は、日本国内では最大規模の売り場面積を誇る大型路面店だ。世界でも初となる試みが多数導入された店舗で、日本庭園風のエントランスデザイン、エスプレッソやシャンパンなどを楽しむバーラウンジの設置など、店内の至る場所に独自の発想とサービスが息づいている。

空間設計では、4フロアをフルに使う豪華なシャンデリアや、故郷のシユウ渓谷を想起させる木と石の自然素材を多用した店内演出が目を引く。また、歴史的コレクションが並ぶ「ミニファクチュール」、社会貢献事業を含めた社の活動を学べる「ラウンジ」という特別なゾーンが設置されており、上質を極めた空間の中でオーデマ・ピゲを学べる。そしてもうひとつ、名古屋店だけのサービスが用意されている。こちらについては、下の「コラム」で紹介しよう。

Biz Life Style Pick up >>>

VIPな気分に包まれるバレーパーキング

愛車から降りたらキーを渡し、悠然とした足取りでエントランスへ…。オーデマ・ピゲ ブティック 名古屋では、事前に予約しておけば駐車場への入出庫をすべてスタッフに委ねられるバレーパーキングサービスを導入している。単に駐車を任せるだけでなく、教育の行き届いたマナーともてなしは、まるで5つ星ホテルのようなクオリティ。世界の名品に出会う時間を堪能する序章として申し分ないサービスだ。



Biz Life Style Pick up >>>

新作誕生秘話やスタイリングの参考情報などを満載した日本向けのスペシャルコンテンツを発信中！右のQRコードからぜひアクセスを！

